

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	70074
事業名	救急医療体制整備・強化費					
評価担当課	所 属	保)ウェルネス 医療政策課			電話番号	011-211-3517
施策名	強じんな消防・救急体制が構築され、市民の安全・安心が守られて					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理	○ 法定経費	○ 指定管理費
	○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ● 補助・助成			○ その他		

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	超高齢社会の到来による救急搬送数の増加、医師の高齢化等により、今後も救急医療体制の負荷は増大することが予想される。 また、令和6年4月に施行された「医師の働き方改革」により医師の時間外勤務が制限されるなど、救急医療提供体制に与える影響は大きいため、より効率的な医療資源の活用が必要となる。
	事業内容(何を実施し)	①救急医療対策費 ・二次救急医療機関制度について、補助対象の診療系にACS系を追加。また、補助内容を見直し、一部の診療系(脳外及びACS以外)の日額補助の基準額を下げ出来高制を導入。 ・診療科を問わず救急患者を受け入れ可能な拠点病院及び準拠点病院体制を導入。 ・救急医療体制対策会議の運営 ②救急安心センターさっぽろ(#7119事業) ・救急安心センターの運営委託(相談件数R5:123, 309件) ・救急安心センターさっぽろ運営会議の開催 ・プロトコル専門委員会の開催・連携中枢都市圏域及び道央医療圏の自治体へ参加呼びかけの実施 ③産婦人科コーディネート ・産婦人科救急電話相談及び搬送先コーディネート事業の運営委託(相談件数R5:1, 090件) ・産婦人科二次・三次連絡調整会議の開催 ・周産期救急医療研修(ALSO／BLSO)の共催
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	いざという時に迅速に救急医療を受けられるようにするため、救急医療体制の整備を行う。また、限られた医療資源の適正利用を促進するため、市民からの救急医療相談に看護師が対応する相談窓口「救急安心センターさっぽろ(#7119)」の運営等を行う。
	他都市の状況	・各政令指定都市における救急医療体制は、実情に応じ、年間全日の体制で整備・運営されている。 ・#7119事業として、東京都、大阪府、奈良県、横浜市等で運営されている。 ・周産期搬送コーディネーターは東京都等でも実施しているが、本市では医療機関との搬送調整に加え、一般市民を対象とした電話相談も実施している。
	市民参加の実施	☐ 企画 ☒ 実施 ☐ 評価 ☐ 対象外

令和4年度決算額	0 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0 人工
令和5年度予算額	1,902,000 千円	うち特定財源	1,006,774 千円	正規職員業務量	4.7 人工
令和5年度決算額	1,880,016 千円	うち特定財源	1,051,473 千円	正規職員業務量	4.7 人工
令和6年度予算額	1,871,000 千円	うち特定財源	524,617 千円	正規職員業務量	6 人工

指標	アウトプット活動指標1	新規実施または強化した救急医療に係る取組				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		1	1	3	1	1	1
	↓						
	アウトカム成果指標1	搬送困難事案件数				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		8791	8332	7360	7873	7414	6955
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	指標達成の要因の一つとして、令和5年度に実施した二次救急医療体制の見直しがあげられる。継続して状況を分析し、見直しを検討していく。					
	アウトプット活動指標2					という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標2					という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方						

今年度の見直し内容	札幌市医療体制審議会(附属機関)を新設し、部会において、救急医療体制の在り方について、専門家を交えたオープンな議論を実施する。
来年度以降の方向性	令和5年度、6年度に運用開始した救急搬送に係るシステムで収集した統計データ等を基に、救急医療体制(補助を含む)の在り方について継続して検討する。